

ドライブバイ検針実証実験の実施

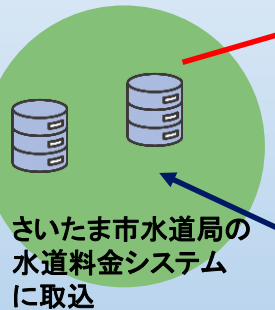
実施時期

令和7年3月～令和8年3月(予定)

実施場所

美園地区の一部(同意を得た水道使用者を対象)

さいたま市水道局アプリを通じて水道使用者へ通知



受信した検針情報を集約

検針データの流れ



車両の移動時に、自動的に検針値を取得



・無線通信を用いた自動検針が可能な水道スマートメーターの利活用は、将来の労働力不足に備え、従来の水道メーター検針に替わる効果が期待されます。

・「ドライブバイ検針実証実験」では、配達車両に搭載する無線通信機器で、一定の距離にあるスマートメーターの検針値を収集します。

※実証実験段階であるため、水道料金の請求は、従来と同様に検針員が2か月に一度訪問して計量した水量にて行います。

・携帯電話のキャリア通信以外の通信方法で検針データを送受信し、データ取得の正確性や費用削減について、その効果を検証します。

・ドライブバイ検針実証実験に協力いただく水道使用者には、検針で取得した1日毎の使用水量を「さいたま市水道局アプリ」で配信し、使用者自身でより細やかな使用状況の確認ができる仕組みを提供します。